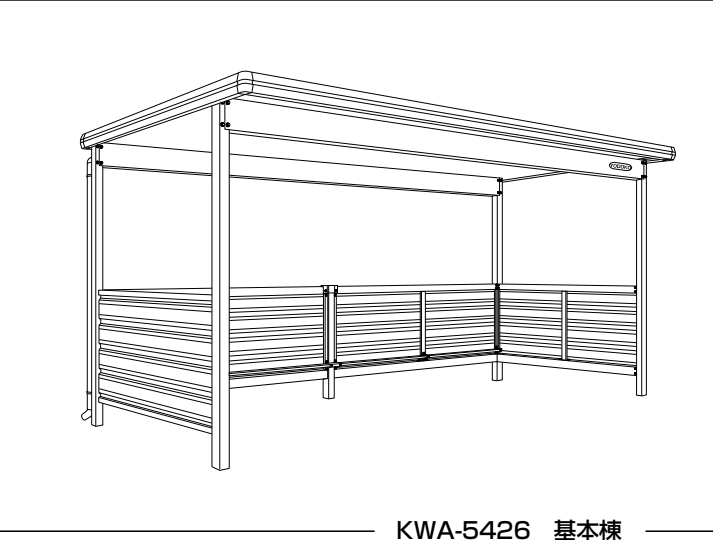


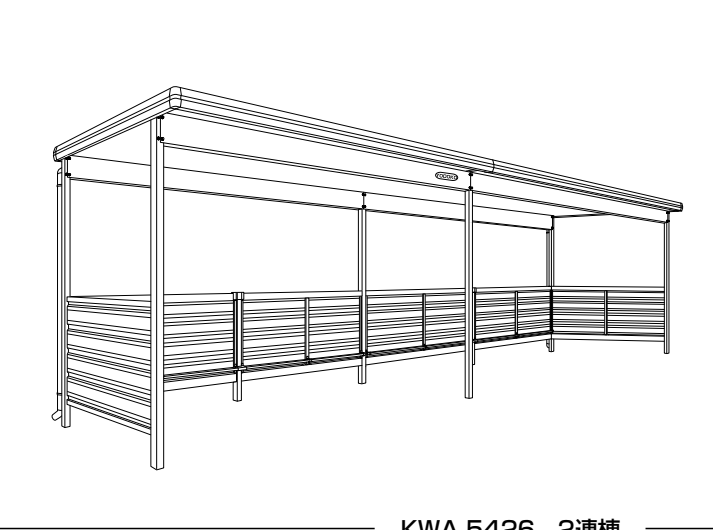
ヨド自転車置場

KWA (一般地型) 組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWA-5426 基本棟



KWA-5426 2連棟

設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

△注意

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 仮組み用のアンカーボルト (W1/2相当) 又はオールアンカー (C12相当) は別途用意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
- 3.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
(安全のため必ず手袋を着用してください。)
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

棚包組合せ表				
棚包名	棚包番号	棚包重量	KWA-5426	
			基本棟	追加棟
部品	KW1-0101	16.0	1	
柱	KW1-0151	11.0		1
	KW1-0401	36.0	1	
	KW1-0403	36.0	1	
	KW1-0405	36.0		1
支柱	KW1-0421	16.0	1	1
桁	KW1-0501	45.0	1	1
	KW1-0502	45.0	1	1
胴縁	KW1-0601	37.0	1	1
	KW1-0603	27.0	1	1
屋根	KW1-0901	10.0	9	9
	KW1-0951	9.5	1	
屋根部品	KW1-0953	9.0		1
	KW1-1001	18.0	1	1
壁 ※1	KW1-1003	14.0	1	
	KW1-1102	18.0	1	
鼻隠し	KW1-1104	18.0		1
	KW1-1121	17.0	1	
計			22	18

※1 壁棚包にはTS (チタニウムシルバー) ・OR (ハッピーオレンジ) ・GR (ポップグリーン) の3色があります。色があっている事を確認してください。

棚包内容表

●部品棚包			●支柱棚包			
棚包番号	部材名	数量	棚包番号	部材名	数量	
KW1-0101	桁金具	4	KW1-0421	C B 支柱	1	
	鼻隠しコーナー樹脂	4		間柱 (KN) 背	2	
	止水パッキン	2		額縁 (KN) 右、(左)	各2	
	コーキング	1	KW1-0501	C B 桁	5	
	φ60丸種回転サドル	2		C B 桁	5	
	φ60用アタッチメント	1		C B 桁	5	
	CBφ60用孔塞ぎプレート	1	KW1-0502	C B 桁	5	
	CBφ60丸種エルボ (70度)	3		C B 桁	5	
	接着剤	1	KW1-0601	C B 胴縁 A	2	
	なベテックス5φ×16	2		C B 胴縁 B	2	
	なベタッピングビス5φ×16	4		C B 胴縁 C	2	
	鼻隠し補強金具	2		C B 車止めパイプ	2	
	アンカープレートN	5		C B 廻し縁	2	
	鉄筋10φ×350	5		C B 胴縁 C	2	
	ボルトセット一式	1		間柱 (6)	2	
	C B 支柱キャップ	1		額縁 (6)	4	
	車止めブラケット (1)	4		C B 廻し縁	2	
	CB車止めブラケット (4)	1		KW1-0603	C B 胴縁 A	2
	補修塗料	1	間柱 (6)		2	
	銘板	1	C B 廻し縁		2	
組立説明書	1	KW1-0901	C B 屋根 A		2	
取扱説明書	1		C B 屋根 A		2	
保証書	1		C B 屋根 A		2	
保金	2	KW1-0951	端パネル受フレームB-N		4	
鼻隠し補強金具	4		端パネル受フレームA		4	
鼻隠し接続金具	1		パネル受フレーム88-I型		16	
トイ接続金具	1		端パネル受フレームA		6	
コーキング	1		パネル受フレーム88-I型	16		
φ60丸種回転サドル	2		KW1-0953	端パネル受フレームB-N	4	
φ60用アタッチメント	1			端パネル受フレームA	4	
CBφ60丸種エルボ (70度)	3			パネル受フレーム88-I型	16	
接着剤	1			KW1-1001TS	C B 壁	2
なベテックス5φ×16	2				KW1-1001OR	C B 壁
なベタッピングビス5φ×16	2	KW1-1001GR				C B 壁
アンカープレートN	3				KW1-1003TS	C B 壁
鉄筋10φ×350	3	KW1-1003OR				C B 壁
ボルトセット一式	1				KW1-1003GR	C B 壁
C B 支柱キャップ	1	KW1-1003TS				C B 壁
車止めブラケット (1)	2		KW1-1003OR		C B 壁	2
CB車止めブラケット (4)	2	KW1-1003GR			C B 壁	2

●壁棚包

棚包番号	部材名	数量
KW1-1001TS	C B 壁	2
KW1-1001OR	C B 壁	2
KW1-1001GR	C B 壁	2
KW1-1003TS	C B 壁	2
KW1-1003OR	C B 壁	2
KW1-1003GR	C B 壁	2

●鼻隠し棚包

棚包番号	部材名	数量
KW1-1102	C B 鼻隠し	1
KW1-1104	C B トイ	1
KW1-1104	C B トイ	1
KW1-1104	C B トイ	1

●ケラバ棚包

棚包番号	部材名	数量
KW1-1121	C B ケラバ	各1
KW1-1121	C B 上枠	各1

オプション明かり採り屋根セット (標準屋根板と差し替え)

棚包名	棚包番号	一般地用
CB明り採り屋根	KW1-0981	1

オプションペフ付屋根 (標準屋根板と差し替え)

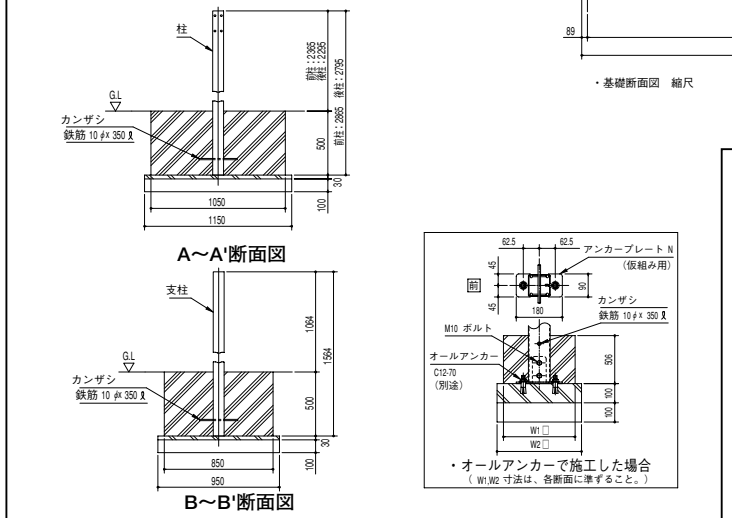
棚包名	棚包番号	KWA-5426	
		基本棟	追加棟
CB屋根Aペフ付	KW1-0911	9	9

■基礎平面図・基礎断面図

柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト (W1/2相当) 又はオールアンカー (C12相当) が必要となります。

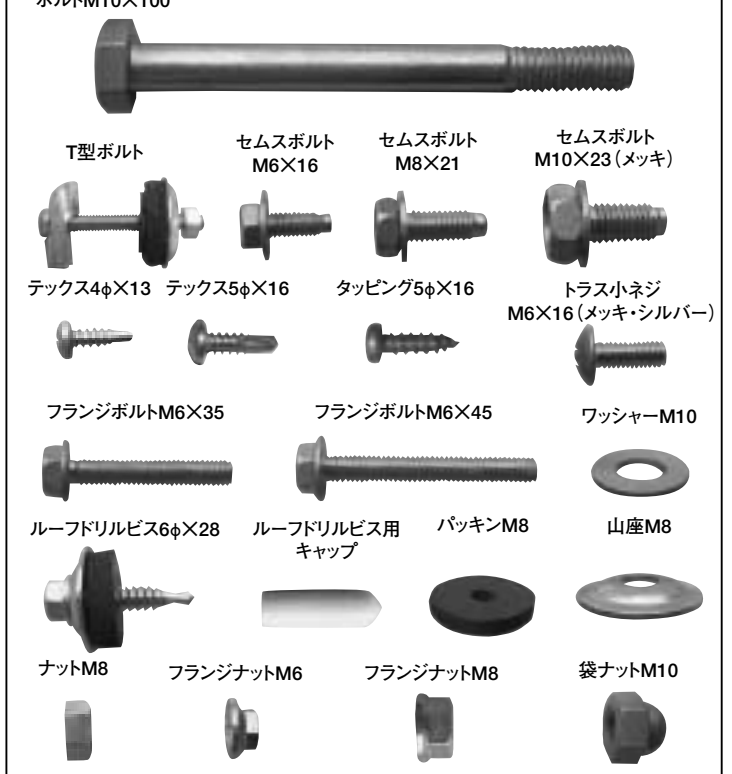
注意 アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は **2 柱の建て方** アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。



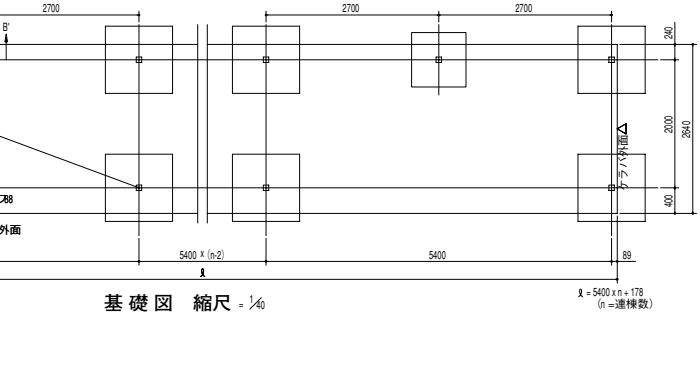
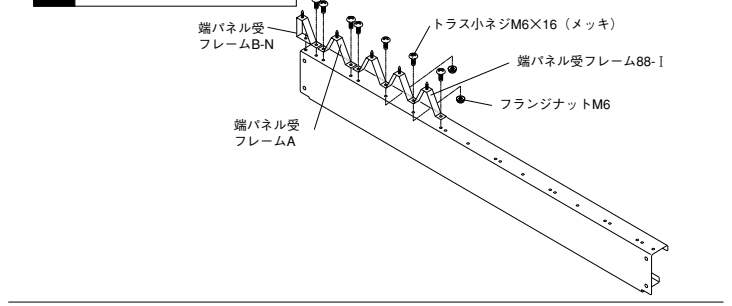
※基礎・転倒防止工事については標準の施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

■組立に使用するボルト一覧 (実物大)

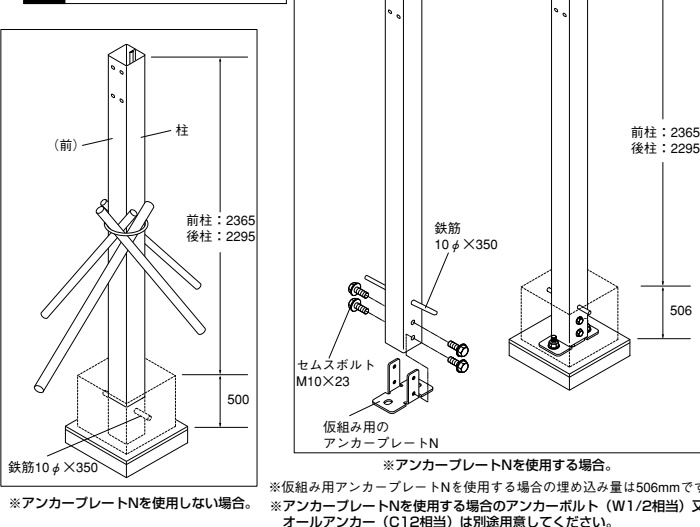


※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。
必ずはがしてから組立を行ってください。

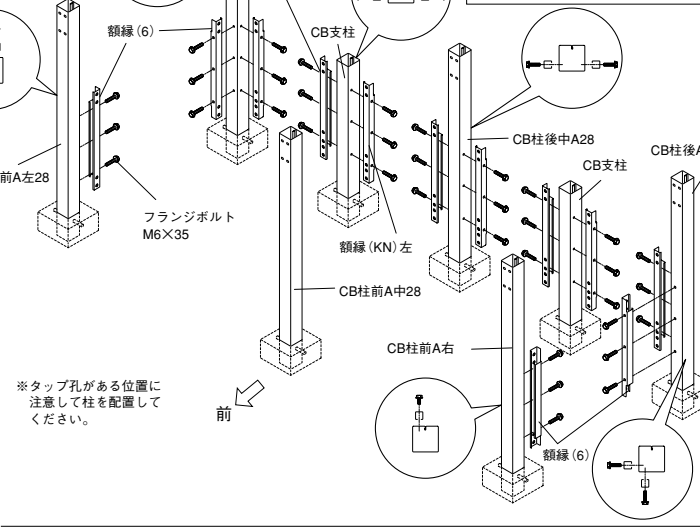
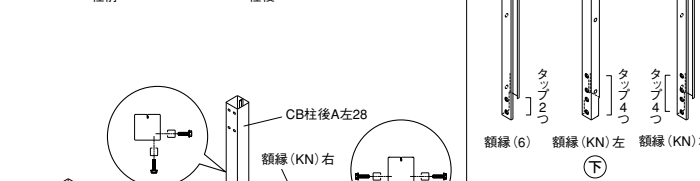
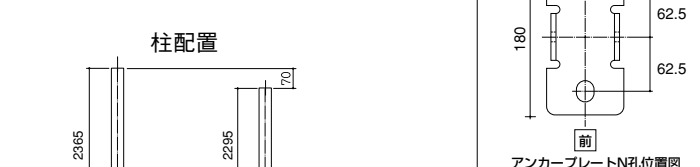
1 パネル受フレームの取付け



2 柱の建て方

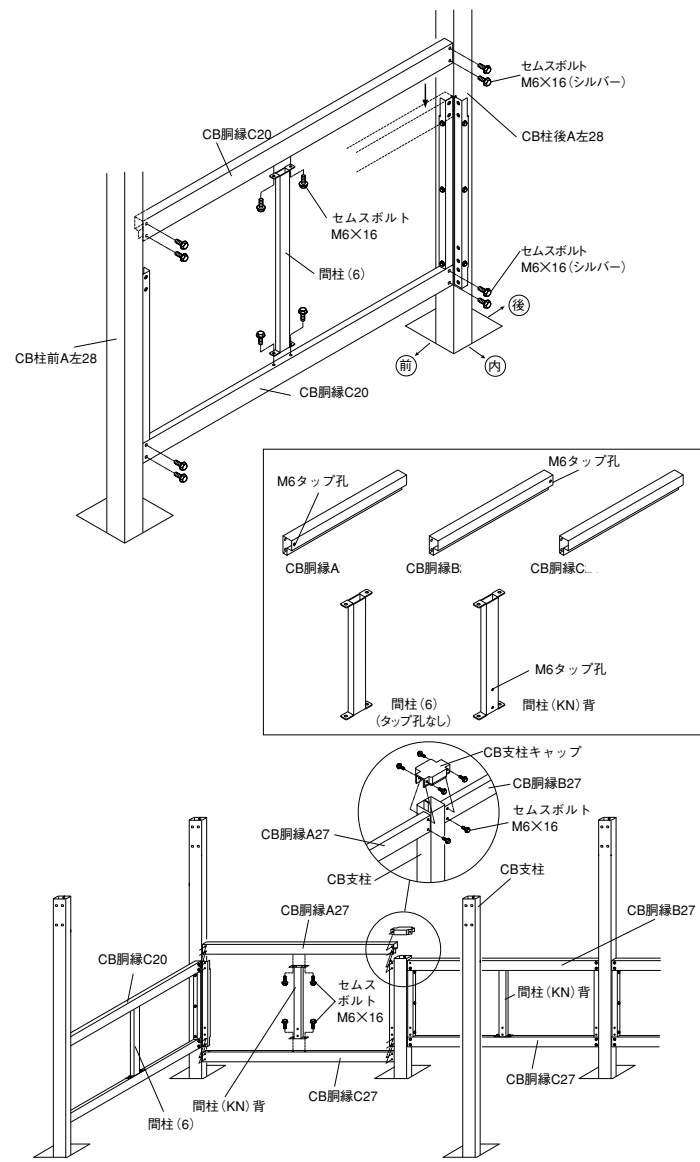


柱は自立しませんので、上図部の様に、**注意** 倒れない工夫をしてください。



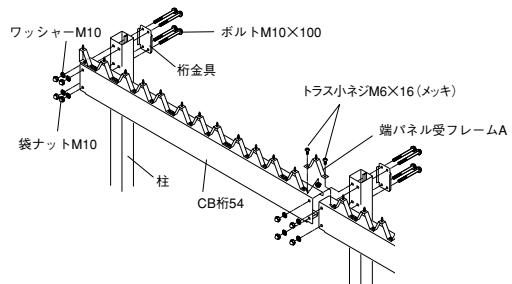
3 胴縁、間柱の取付

- ① 胴縁を額縁に取付けます。
 - ② 間柱を胴縁に取付けます。
- ※ 額縁、胴縁には種類があります。
下記参照



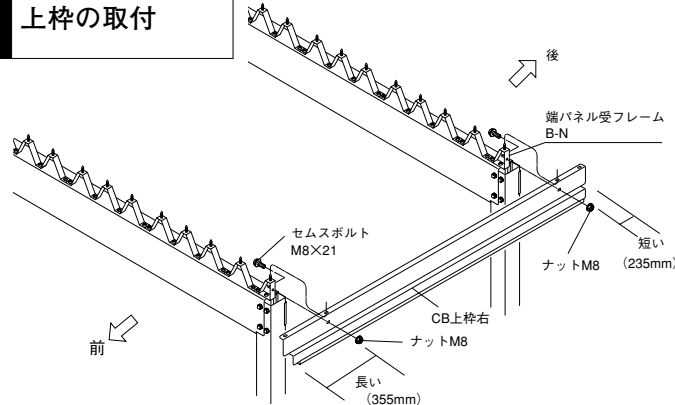
4 桁の取付

- 桁と桁金具を、柱に取付けます。
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。



5 上枠の取付

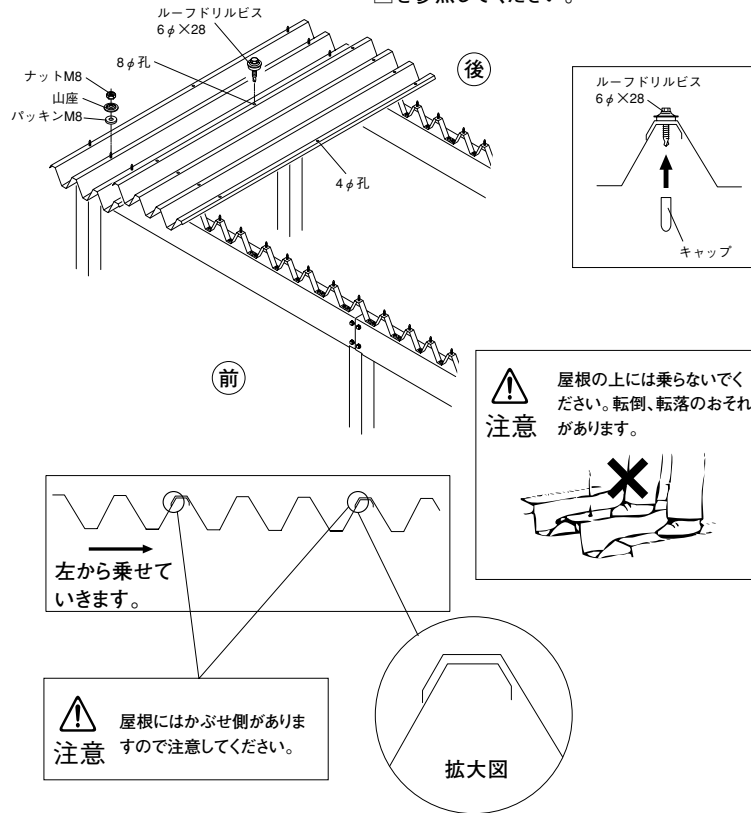
- 上枠を端パネル受フレームB-Nに取付けます。



6 屋根の取付け

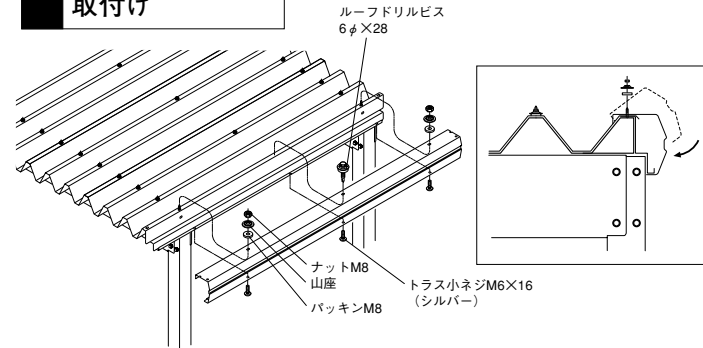
- 屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。
屋根の重ね部にルーフトドリルビスを打ち込み、
下からキャップをかぶせます。ルーフトドリルビス
は桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるところに
取付けます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

- ※ オプション 明り採り屋根を取付ける場合は、
14を参照してください。



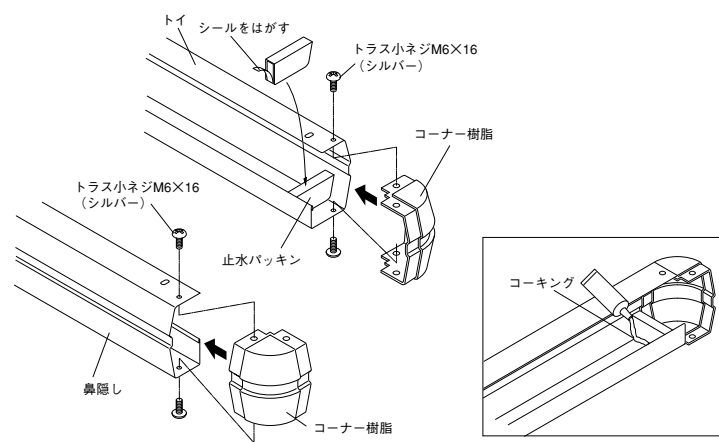
7 ケラバの取付け

- ケラバを図の様に上枠にかぶせる様、取付け
ます。



8 コーナー樹脂、 止水パッキンの取付け

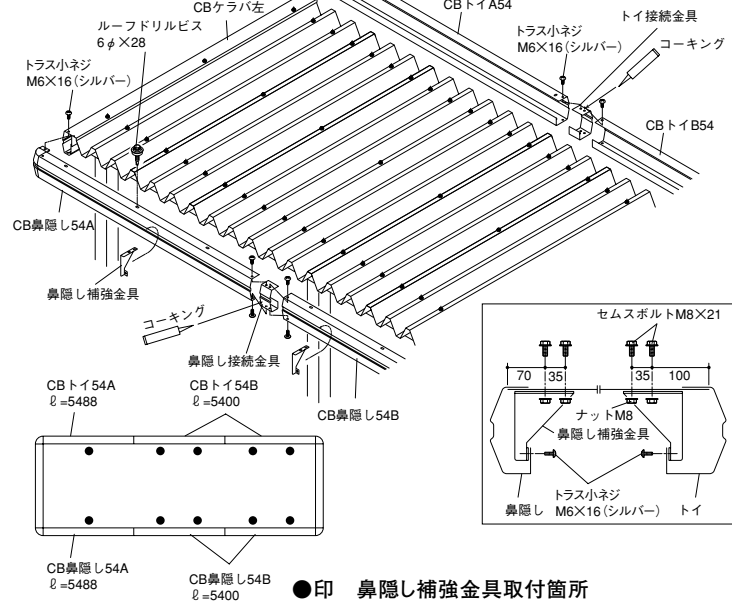
- コーナー樹脂を鼻隠し、トイのコーナー部に取
付けます。止水パッキンをトイの両端に貼り、
内側からコーキングを施します。
※ 鼻隠し、トイの配置は 9 鼻隠し、トイの取付け
を参照してください。



9 鼻隠し、トイの 取付け

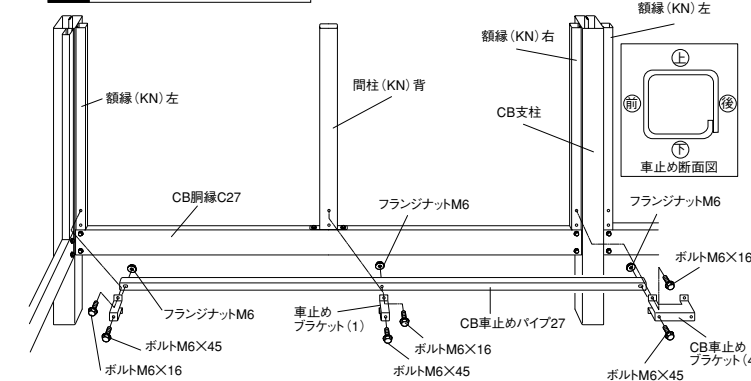
- ① 鼻隠し、トイをケラバ、鼻隠し接続金具、トイ
接続金具に取付けます。接続金具部にはコー
キングを施してください。
- ② 鼻隠し、トイ、鼻隠し補強金具を取付けます。
- ③ 屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、
10φの孔加工をしてください。(下図参照)
- ④ 鼻隠し、トイをルーフトドリルビスで屋根に固定
してからキャップをかぶせます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

- ※ 連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し54A (CBトイ54A)を取付
てください。



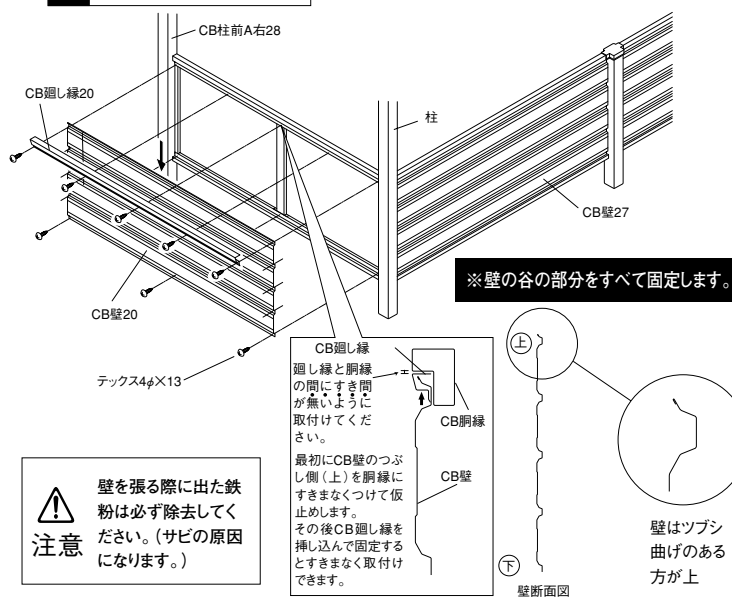
10 車止めパイプの 取付け

- ① ブラケットを車止めパイプに取付けます。
- ② 車止めパイプを額縁 (KN) 左 (右)、
間柱 (KN) 背に取付けます。



11 壁の取付け

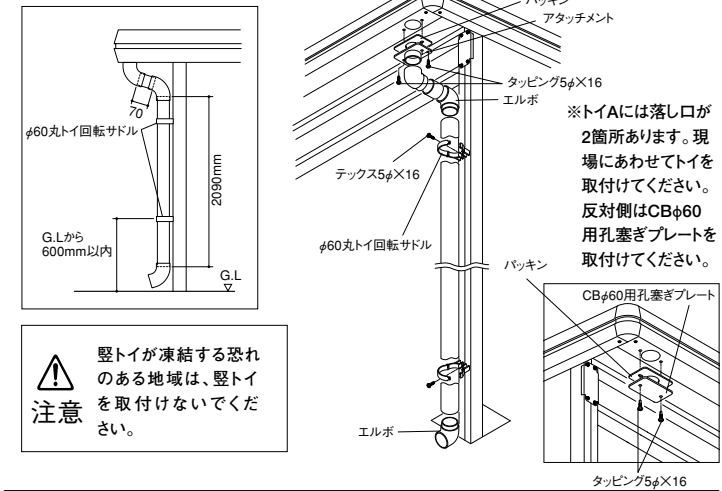
- 壁を外側から張り付け、廻し縁と一緒にテック
スで胴縁・額縁・間柱に固定します。



12 豎トイの取付け

- 図の様に豎トイを取付けます。
部材の接合部には接着剤を塗布してください。

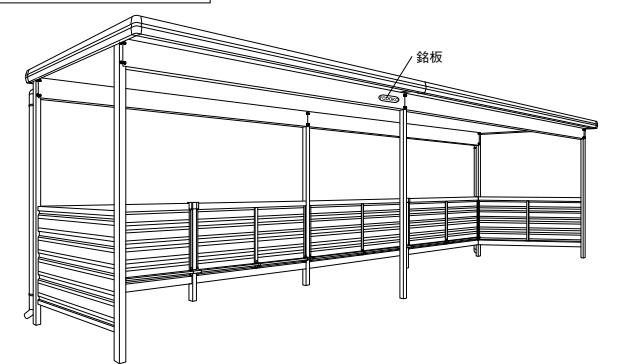
- ※ パッキンはシールをはがしてください。



豎トイが凍結する恐れ
のある地域は、豎トイ
を取付けないでくだ
さい。

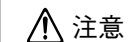
13 完成図

- 最後に銘板を貼り付け、柱をモルタルで
固定し、安全を確認してから、柱の支えをはず
してください。



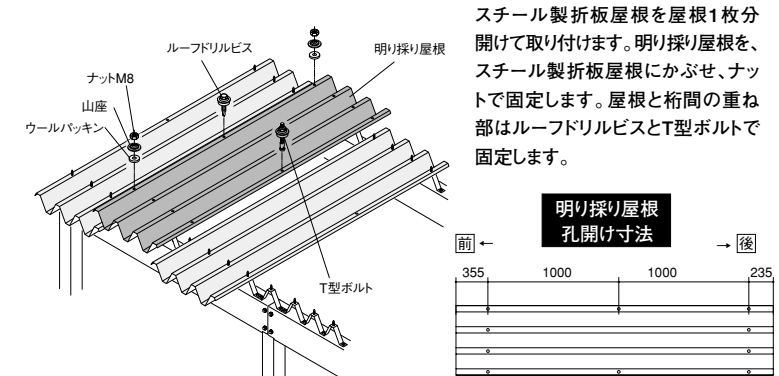
- ※ 以上で完成です。ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

14 オプション 明り採り屋根



- オプションの明り採り屋根がある場合、屋根の施工と同時に行ってください。
● 明り採り屋根を施工する前に、表・裏面の保護フィルムを取り除いてください。
● 明り採り屋根は、傷つきやすいため、取扱いには十分気をつけてください。
● 明り採り屋根の取付けは、必ず両面にスチール製折板屋根を取り付けてから
行ってください。
● 明り採り屋根とスチール製折板屋根の重ね部には、ルーフトドリルビスとT型ボ
ルトを使用してください。

- ※ 明り採り屋根に、下図の箇所に10φの孔を開けます。



明り採り屋根
孔開け寸法

355	1000	1000	235
-----	------	------	-----

お客様へ
組立説明書と取扱説明書
は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、
必ずお客様にお渡しいたします。

ヨド自転車工場
KWA(一般地型)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2005.10月制作)

ヨド自転車置場 KWA(U) 2段壁仕様 ヨドスモーキングエリア KTA(U) 喫煙所

補足説明書 ※本体組立説明書も併せて参照ください。

【梱包組合せ表】

梱包名	梱包番号	梱包重量	KWA(U)-2段壁仕様				KTA(U)-喫煙所仕様				
			一般地型		豪雪地型		一般地型		豪雪地型		
			基本	追加	基本	追加	基本	追加	基本	追加	
部品	※KW1-0101K2	16.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	※KW1-0102K2	23.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	※KW1-0151K2	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	※KW1-0152K2	15.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	※KW1-0104	16.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-
柱	※KW1-0105	23.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	※KW1-0402K2	36.0	1	-	1	-	1	-	1	1	-
	※KW1-0404K2	36.0	1	-	1	-	1	-	1	1	-
支柱	※KW1-0406K2	36.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	※KW1-0421K2	30.0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柱補強	※KW1-0451K2	24.0	-	-	2	1	-	-	-	-	2
	KW1-0501	45.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-
桁	KW1-0502	45.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	KW1-0503	40.0	-	-	1	1	-	-	-	1	-
	KW1-0504	40.0	-	-	1	1	-	-	-	1	-
	KW1-0505	36.0	-	-	2	2	-	-	-	2	-
	※KW1-0509	40.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	※KW1-0510	40.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	KW1-0601	37.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-
胴縁	KW1-0602	33.0	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	※KW1-0603K2	37.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	※KW1-0603K2HS	37.0	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	※KW1-0606	27.0	-	-	-	-	1	-	-	1	-
屋根	KW1-0901	10.0	9	9	-	-	8	-	-	-	-
	KW1-0902	15.0	-	-	8	8	-	-	-	8	-
屋根部品	KW1-0951	9.5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	KW1-0952	8.5	-	-	1	-	-	1	-	1	-
	KW1-0953	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	KW1-0954	8.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-
壁	KW1-1001	18.0	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	KW1-1002	16.0	-	-	2	2	2	-	-	2	-
	KW1-1003	14.0	2	-	2	-	2	-	-	2	-
鼻隠し	KW1-1101	9.0	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	KW1-1102	18.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	KW1-1103	9.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	KW1-1104	18.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	※KW1-1107	16.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ケラバ	KW1-1121	17.0	1	-	1	-	1	-	-	1	-
	KW1-1601	18.0	-	-	2	1	-	-	-	2	-
計 / 梱包		24	19	29	22	23				29	

※は本機種の専用梱包。

【梱包内容表】 ※以外の梱包は、本体KWAもしくはKWAUの組立説明書を参照。

●部品梱包

- ・本体の部品梱包の「ボルトセット 一式」→ ボルトとテックスの員数のみ変更。
- ・KW1-0104はKW1-0101K2から「車止めブラケット(1)」と「CB車止めブラケット(4)」を削除。
- ・KW1-0105はKW1-0102K2から「車止めブラケット(1)」と「CB車止めブラケット(4)」を削除。
- ・他、本紙を追加。

●柱梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0402K2	CB 柱前U 左 K2 28	1
	CB 柱後U 左 K2 28	1
KW1-0404K2	CB 柱前U 右 K2 28	1
	CB 柱後U 右 K2 28	1
KW1-0406K2	CB 柱前U 中 28	1
	CB 柱後U 中 K2 28	1

●支柱梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0421K2	CB 支柱 K2	1
	CB 間柱(KN)背 K2	2
	CB 額縁(KN)左 K2	2
	CB 額縁(KN)右 K2	2
	CB 間柱補強 K2	2

●柱補強梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0451K2	CB 柱補強 K2 28	2

●桁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0509	CB 桁 48	1
KW1-0510	CB 桁 48 PL12	1

●胴縁梱包

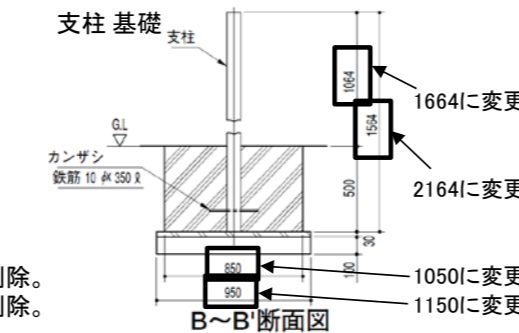
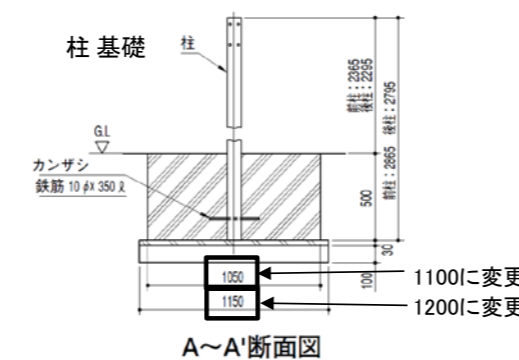
梱包番号	部材名	数量
KW1-0603K2	CB 胴縁 C 20	4
	CB 間柱(6)K2	2
	CB 額縁(6)K2	4
	CB 廻し縁 20	2
	CB 間柱補強 K2	2
KW1-0603K2HS	CB 胴縁 C 20	4
	CB 間柱(6)K2	2
	CB 額縁(6)K2	4
	CB 廻し縁 20	2
	CB 間柱補強 K2	2
KW1-0606	喫煙所用 標識シール	1
	CB 胴縁 A 24	1
	CB 胴縁 B 24	1
	CB 胴縁 C 24	2

●鼻隠し梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1107	CB 鼻隠し48-A	1
	CB トイ48-A	1
	豎トイ L=2260	1

【基礎図】

<全機種共通事項>



<KTA(U)-4826>

間口寸法を以下の通り読替。
5400 → 4800
2700 → 2400

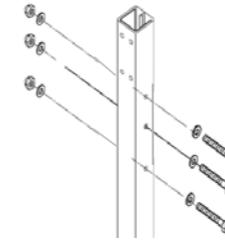
※組立に使用するボルトは変更ありません。

【本体組立】

※以下に記載以外の内容は全て本体の組立説明書を参照ください。番号はKWA(一般地型)を参照しています。

2 柱の建て方

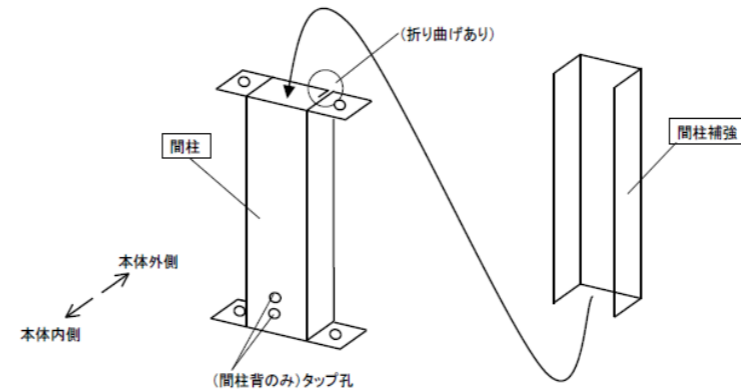
一般地型の柱上部の3つの孔は使用しませんので、下図の様に、M10×100のボルト、ワッシャー、袋ナットでふさいでください。



CB支柱には組立説明書の位置に額縁を取り付けてください。使用しないタップはM6×15の捨てボルトで塞いでください。

3 胴縁・間柱の取付

間柱を胴縁に取り付ける前に、下図の様に間柱補強を中に入れてください。
※出荷時に既に間柱の中に入れてありますが、出てしまっていたら下図を参考に直ししてください。その際は、間柱補強の向きに注意してください。



10 車止めパイプの取付け

KTA(U)喫煙所の場合は金具とパイプが入っておりませんので、間柱と額縁の使用しないタップにはM6×15の捨てボルトで塞いでください。

13 完成図



ヨド川製鋼

2019年C制作

KWA(U) 2段壁・KTA(U)喫煙所 補足説明書 (KWA-K2・KTA-HS01)
対象梱包 : KW1-0101K2, KW1-0102K2, KW1-0104, KW1-0105